

# 学習内容と日常生活とを関連させた授業に関する調査

## —小学校教員の教職経験年数に着目して—

澄川 慧 (10116052)

### 1. はじめに

小学校学習指導要領によると、様々な教科の教科目標で学習内容を日常生活に活用できるようになることが期待されている。また、児童・生徒の学習意欲がわからないのは、その学習が自分にとって必要ないか、または自分にとって関係がないと感じた場合に起こる(下田 2005)。したがって、子どもたちが学習内容と日常生活とを関連することができるような指導の必要性があると見えよう。一方、教職経験年数を重ねたベテラン教員は、さまざまな経験に対する省察を通して実践知を形成するとされている(金井ら 2012)。したがって、学習内容と日常生活とを関連させた授業において、ベテラン教員の実践知を明らかにすることは教師教育の観点からも意義があると見えよう。

そこで、本研究は小学校教員の経験年数の観点から、学習内容と日常生活とを関連させた授業実践の違いについて検討することを目的とした。

### 2. 調査方法

本研究では、「長崎県 教員等としての資質の向上に関する指標」で示されている教職経験年数別のステージにおける第0ステージ・第1ステージに該当する3名の教員(若手教員)と第4ステージに該当する教員(ベテラン教員)3名を対象にインタビュー調査(半構造化面接法)を実施した。インタビューにおける質問項目は、「実践した授業の事例」、「授業考案の方法」、「学習者の反応や自身の手応え」についてであった。また、インタビューによって得られた回答を教職経験年数の観点で分類し、それぞれの特徴について整理した。

### 3. 結果・考察

表1に示すように「実践した授業の事例」について、若手教員は「動物園の檻」や「季節ごとの風物詩」など、児童にとって一般的とは言い難い「社会的日常」と学習内容とを関連させる傾向があることが示された。一方、ベテラン教員は「実際の通学路」や「子どもたちが良く利用する近所のスーパーマーケット」など、児童にとって「身近な日常」と学習内容とを関連させる傾向があった。ベテラン教員は若手教員と比較して、児童の実態や学校近隣の様子を把握していることから、学習者である児童にとって、より「身近な日常」を具体的な事例として挙げる事ができていると推察できる。

「授業考案の方法」について、若手教員は「授業を考案する際に日常生活と関連した話題を思いつく」や「教科書を読んでいるときに思いつく」など、学習内容から日常生活に関連させることで、授業を考案していることが明らかになった。一方、ベテラン教員は「生活の中で漫画を読んだときに思いつく」や「テレビを見ているときに思いつく」など、自身の生活環境における日常から、学習内容に関連させることで授業を考案して

いることが明らかになった。ベテラン教員は学習内容を把握しているため、自身の生活環境における日常と学習内容とを関連させることができたと推察される。

「学習者の反応や自身の手応え」について、若手教員は「学習者の反応が良い」や「授業をやっている手応えを感じる」など、学習内容と日常生活を関連させた授業を実践するメリットを述べた。また、ベテラン教員も「学習者が意欲的になっている」や「子どもの反応が良いからやってよかったと思える」など、若手教員と同様に学習内容と日常生活を関連させた授業を実践するメリットについて述べた。したがって、学習内容と日常生活とを関連させた授業による、児童の興味・関心の向上について、教職経験年数に関わらず、実感していることが明らかになった。

表1：実践した事例についての回答

日常の種類	学習内容	日常生活
社会的日常 (若手教員)	三角形、四角形の定義	動物園の檻をイメージ
	秋の楽しみ	秋の風物詩の提示
	虫の声	動画再生アプリの虫の声
身近な日常 (ベテラン教員)	距離の学習	児童の家から学校までの道のり
	スーパーマーケット	近所のスーパーマーケット
	比例	お風呂をためる様子

### 4. まとめ

本研究では、学習内容と日常生活とを関連づけた授業の実践に関するインタビューを実施し、小学校教員の経験年数の観点から、学習内容と日常生活とを関連させた授業実践の違いについて検討することを目的とした。

半構造化面接法によるインタビュー調査の結果、若手教員は、「社会的日常」と学習内容とを関連させる傾向があり、ベテラン教員は、児童にとって「身近な日常」と学習内容とを関連させる傾向があった。「授業考案の方法」では、若手教員は学習内容から日常生活に関連させて授業を考案し、ベテラン教員は日常生活の事柄から学習内容に関連させて授業を考案していることが明らかになった。

今後の課題は、本研究によって得られた知見について、質問紙調査等を用いた量的な研究によって検証することである。

### 参考文献

下田好行(2005)総合的な学習における学習者の認識の深まりを促す教育内容・方法の開発研究—学習者の内的必然性の喚起と振り返り活動を手がかりとして—平成15・16年度科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果最終報告書, pp1-9  
金井壽宏, 楠見孝(2012)実践知—エキスパートの知性, 株式会社有斐閣, pp174-193

(指導教員 瀬戸崎典夫:初等教育講座)